

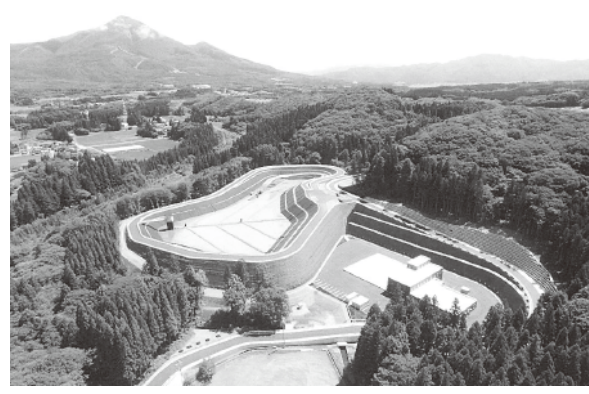
会津若松地方広域市町村圏整備組合 令和4年8月議会定例会

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会定例会が8月16日から24日に行われた。

条例の一部改正や令和4年度補正予算、令和3年度決算の認定など、12議案が上程され、全て原案どおり可決された。

令和4年度一般会計補正予算では、ごみ処理施設運転管理業務委託について債務負担行為を設定するとともに、歳出において新ごみ焼却施設整備に係る電源接続案件一括検討プロセス工事費負担金を計上するなど、歳入歳出4億5210万円を増額し、89億4775万円となった。

また、会津美里消防署の新築移転に伴い、整備組合消防機関設置条例の一部が改正された。



磐梯町更科に完成した沼平第3最終処分場
(埋立容量：152,000㎡)

東京電力福島第一原子力発電所 視察研修

去る7月14日、福島第一原子力発電所の視察を実施した。

今では、防御服無しで構内をバスで移動でき、各施設の視察、説明を聞くことができた。

事故から10年以上が経過し、廃炉作業は着実に進展、周辺海域や周辺大気への影響も大きく改善されているとのことであった。

廃炉作業は燃料デブリの取り出しが最も困難で、国内外の英知を集め進めている。地域の人や環境へのリスクを低減するための作業で、2051年までの終了を目標に進めている。

溜まり続ける汚染水は、政府は2021年4月に、ALPS処理水の海洋放出を行う方針を決定した。ALPS処理水とは、汚染水から放射性物質を除去したものであり、安全性を確保するため、処理水を含む海水の水槽でヒラメの飼育練習を開始したとのこと。

現在の作業人数は、協力企業を含め、平日1日当たり3,550人で、地元雇用率は約70%とのこと。

いまだ避難者が3万人以上、災害賠償が続く中で、廃炉作業の現場を視察し、10年以上経過したにも関わらず、作業の進捗があまり見られず、困難さを強く感じた。



既設多核種除去設備（既設ALPS）



※猪苗代町議会は、令和2年9月『福島県の漁業と漁業関係者の生活を守るために東京電力福島第一原発敷地内に保管されているトリチウムを含む処理水の海洋放出に反対する意見書』を国や県に提出しています。

あなたの声を審議しました

9月定例会で審議された「陳情」の結果は次のとおりです。

区分	件名	紹介議員	付託委員会	審議結果
	陳情者の氏名			
陳情第1号	現猪苗代町クロスカントリーコースに関する陳情		文教厚生 常任委員会	継続審査
	福島県スキー連盟 会長 玉川 武			

猪苗代町教育委員会委員の同意 「猪苗代町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」

鈴木兵市氏を適任と認め、全会一致で同意しました。任期は令和8年9月30日まで。



鈴木 兵市 氏
(西久保)

猪苗代町教育委員会教育長の同意 「猪苗代町教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて」

宇南山忠明氏を適任と認め、同意しました。任期は令和7年9月30日まで。



宇南山 忠明 氏
(島田)

人権擁護委員候補者の推薦について意見が求められました

人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、熊谷喜一氏を推薦することに意義がない旨、答申した。任期は令和5年1月1日から令和7年12月31日まで。



熊谷 喜一 氏
(酸川野)

猪苗代町農業委員会委員の同意 「猪苗代町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」

安達寿人氏を適任と認め、全会一致で同意しました。任期は令和5年7月19日まで。



安達 寿人 氏
(打越)

※人権擁護委員は、町が、議会の意見を聞いたうえで法務局に推薦し、法務局は弁護士会等の意見を求め検討し、法務大臣が委嘱します。